



袋井市「ゼロカーボンシティ」宣言

近年、地球温暖化が原因とみられる気候変動の影響により、世界各地で自然災害が頻発、激甚化しています。国内各所においても、猛暑や集中豪雨等の気象災害が頻発し、甚大な被害をもたらしています。

こうした気候変動は、私たちの生命や財産をおびやかすだけでなく、全ての生き物にとっての生存基盤を揺るがす極めて深刻な影響を及ぼしています。

2015年に合意されたパリ協定では、「産業革命からの平均気温上昇の幅を2℃未満とし、1.5℃に抑えるよう努力する」との目標が掲げられました。

さらに、2018年に公表されたIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書において、この目標を達成するためには「2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることが必要」とされています。

袋井市は、本市が望ましい環境像として掲げる「人と自然にやさしい環境をみんなで創り守り育てるまちふくろい」の実現と、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指し、市民、事業者の皆様と一丸となって全力で取り組んでいくことを、宣言いたします。

令和4年2月1日

袋井市長

大場規之